

資料3

報道発表資料
平成22年10月13日
気象庁第117回火山噴火予知連絡会
全国の火山活動の評価

本日、前回の火山噴火予知連絡会（平成22年6月16日）以降の全国の火山活動について検討を行いました。現在までの全国の火山活動の評価のほか、最近の桜島の火山活動について特に重点的に検討を行い、結果を以下のとおり取りまとめました。

○ 全国の主な火山活動

今期間（平成22年6月16日～10月12日）、三宅島、霧島山（新燃岳）、桜島及び諏訪之瀬島で噴火が発生しました。

桜島〔火口周辺警報（噴火警戒レベル2）〕 昭和火口では、9月上旬まで爆発的噴火を含む噴火の多い状態で経過しました。6月以降の噴火による噴煙の最高高度は火口縁上2,000mで、弾道を描いて飛散する大きな噴石が最大4合目まで達しました。9月中旬以降は噴火は少ない状態で、爆発的噴火は9月9日から10月6日までありませんでした。南岳山頂火口では噴火は発生しませんでした。

地殻変動観測から、桜島直下へのマグマの供給量は6月頃から減少していると考えられ、9月30日に噴火警戒レベルを3から2に引き下げました。しかしながら、始良カルデラ深部の膨張は引き続き観測されていることから、桜島直下へのマグマの供給量が増加した場合、噴火活動は再び活発化する可能性が考えられますので、火山活動の推移に注意する必要があります。昭和火口及び南岳山頂火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。

三宅島〔火口周辺警報（噴火警戒レベル2）〕 では、多量の火山ガス放出が当分継続すると考えられます。引き続き、火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生する可能性がありますので、火口周辺では噴火に対する警戒が必要です。

霧島山（新燃岳）〔火口周辺警報（噴火警戒レベル2）〕 では、6月下旬から7月上旬にかけて噴火が4回発生しました。引き続き、新燃岳火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。

諏訪之瀬島〔火口周辺警報（噴火警戒レベル2）〕 では、爆発的噴火を含む噴火が断続的に発生しました。御岳火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されますので、引き続き、火口から概ね1kmの範囲では弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。

○ 各地方の主な活火山の火山活動評価

1. 北海道地方

① 雌阿寒岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）〕

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

- ② 十勝岳 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]
 - ・地震活動、噴煙活動ともに概ね静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
 - ・2006年からみられている62-2火口直下浅部の膨張を示す地殻変動は、2009年以降次第に鈍化しながら現在も続いており、しばらくは活動の推移に注意が必要です。
- ③ 樽前山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]
 - ・2006年以降みられていた山頂溶岩ドーム直下浅部の膨張を示す地殻変動は、ほぼ停止しています。
 - ・A火口及びB噴気孔群では高温の状態が続いていますが、噴煙活動は低調で、地震活動にも特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
- ④ 倶多楽 [噴火予報(平常)]
 - ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
- ⑤ 有珠山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]
 - ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
- ⑥ 北海道駒ヶ岳 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]
 - ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
- ⑦ 恵山 [噴火予報(平常)]
 - ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

2. 東北地方

- ① 岩木山 [噴火予報(平常)]
 - ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
- ② 岩手山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]
 - ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
- ③ 秋田駒ヶ岳 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]
 - ・2009年8月に確認され2010年4月にかけて地熱域が拡大した女岳北東斜面の噴気地熱域では、6月と8月の現地調査で4月と比べその広がりには大きな変化は認められませんでした。一方、女岳北斜面及び南東火口では、新たに地熱の高い箇所が観測されました。なお以前からの女岳山頂北部の噴気地熱地帯の状況には特段の変化は認められません。
 - ・地震活動に特段の変化はみられません。

- ・ただちに噴火する兆候は認められませんが、今後の火山活動の推移に注意する必要があります。

④ 栗駒山 [噴火予報(平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑤ 吾妻山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・7月、8月に大穴火口の噴気孔周辺で硫黄の燃焼が確認されました。
- ・噴気活動はやや高い状態が続いています。
- ・火山性地震は2009年10月から2010年7月にかけてやや多い状況が続いていましたが、8月に入り少ない状況となっています。火山性微動は8月に1回発生しました。
- ・GPSによる地殻変動観測では、2010年1月頃から大穴火口周辺の基線で伸びを示す変化が観測されていましたが、5月頃から鈍化または停滞しています。
- ・ただちに火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められませんが、火口内では火山ガスの噴出がみられるので警戒が必要です。また、風下側では、火山ガスに注意が必要です。

⑥ 安達太良山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑦ 磐梯山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

3. 関東・中部地方、伊豆・小笠原諸島

① 那須岳 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

② 草津白根山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・湯釜火口内北東部や北壁及び水釜火口の北から北東側にあたる斜面で熱活動の活発な状態が継続しています。山頂火口から概ね500mの範囲では、ごく小規模な火山灰等の噴出に警戒が必要です。

③ 浅間山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・火山性地震は、2010年4月以降はやや少ない状態で推移しています。
- ・火山ガス(二酸化硫黄)の放出量は、2010年3月以降はやや少ない状態で推移しています。
- ・山体周辺のGPSによる地殻変動観測では、2008年7月初め頃から2009年夏にかけて深部へのマグマの注入を示す伸びがみられ、その後2009年秋頃から縮みの傾向がみられています。
- ・火山活動は2010年4月以降静穏な状態が続いていますが、山頂火口から500mの範囲では、火山灰噴出や火山ガス等に警戒が必要です。

④ 新潟焼山 [噴火予報(平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑤ 焼岳 [噴火予報(平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑥ 御嶽山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑦ 白山 [噴火予報(平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑧ 富士山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・山体周辺のGPSによる地殻変動観測で、2008年8月頃からみられた地下深部の膨張傾向を示すと考えられる伸びの変化は、2010年初め頃から鈍化の傾向がみられ、現在は一部の基線を除き停止しています。
- ・その他の観測データで浅部の異常を示すものはなく、噴火の兆候は認められません。

⑨ 箱根山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑩ 伊豆東部火山群 [噴火予報(平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑪ 伊豆大島 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・GPSおよび体積歪計による地殻変動観測では、2009年秋頃から今年5月にかけて収縮傾向がみられていましたが、その後は膨張に転じています。長期的には、地下深部へのマグマ注入によると考えられる島全体の膨張傾向が継続しています。
- ・カルデラ直下を震源とする地震の発生回数は今年7月以降、増加傾向がみられます。またカルデラの周辺でも、8月下旬から島の東部、10月上旬から島の西部で、地震が増加しています。
- ・三原山の熱活動には特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑫ 三宅島 [火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)]

- ・7月4日及び21日に山頂火口でごく小規模な噴火が発生し、いずれも東側の山麓で降灰を観測しました。
- ・火山性地震は、2010年7月以降はやや少ない状態で推移しています。

- ・ GPSによる地殻変動観測では、浅部の収縮と深部の膨張を示すこれまでの傾向が継続しています。
- ・ 二酸化硫黄放出量は一日あたり1千～2千トンと、依然として多量の火山ガス放出が続いています。
- ・ 火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生する可能性があります。火口周辺（雄山環状線内側）では噴火に対する警戒が引き続き必要です。風下にあたる地区では火山ガスに警戒が必要です

⑬ 八丈島 [噴火予報（平常）]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑭ 硫黄島 [火口周辺警報（火口周辺危険）]

- ・ 地震活動は2010年8月ころから以前より増加した状態で、9月下旬には一時的にやや活発となりました。島全体が隆起する地殻変動は、2006年8月に始まり、2009年10月頃から停滞していましたが、今年5月頃から再び現れています。島内南北方向の伸びの傾向は継続しています。
- ・ 硫黄島では火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されますので、従来から小規模な噴火がみられていた領域では警戒が必要です。

⑮ 福德岡ノ場 [噴火警報（周辺海域警戒）]

- ・ 変色水が確認されており、小規模な海底噴火が発生すると予想されますので、周辺海域では警戒が必要です。

4. 九州地方・南西諸島

① 九重山 [噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

② 阿蘇山 [噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）]

- ・ 孤立型微動は7月上旬まで日回数が300回前後と多い状態でしたが、中旬以降は減少し、少ない状態で経過しています。
- ・ 南側火口壁の火炎現象は3月以降観測されていません。また、赤熱現象は5月下旬以降観測されていません。
- ・ 南側火口壁の最高温度は250℃前後で経過しました。
- ・ 湯だまり量は6月中旬から下旬にかけて約5割まで減少しましたが、7月以降増加しており、9月9日に実施した現地調査では約8割でした。表面温度は70℃前後で経過しました。また、引き続き噴湯現象が観測されました。
- ・ その他の火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められませんが、火口内では土砂や火山灰の噴出する可能性があります。また、火口付近では火山ガスに対する注意が必要です。
- ・ 南阿蘇村吉岡（中岳第一火口から西南西約6 km）の噴気は噴出力がやや強く、引き続き噴気活動に注意が必要です

③ 雲仙岳 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

④ 霧島山

- ・GPSによる地殻変動観測で2009年末からみられた霧島火山群西側山腹付近を中心とする地盤の伸びは、7月頃からやや鈍化しています。

新燃岳 [火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)]

- ・6月下旬から7月上旬にかけて噴火が4回発生しましたが、その後は発生していません。
- ・7月10日の小規模な噴火により、低温と推定されるごく小規模な火砕サージが発生し、火口縁から南西に約300m流下しました。その他の噴火は、天候不良のため表面現象は不明でしたが、震動及び空振データからごく小規模な噴火であったと推定されます。
- ・火山性地震は増減を繰り返しながらやや多い状態が続いています。
- ・火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生する可能性がありますので、火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石(火山れき)に注意が必要です。

御鉢 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑤ 桜島 [火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)] ← 平成22年9月30日に火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)を発表し、噴火警戒レベルを3(入山規制)から2(火口周辺規制)に引き下げました。

- ・昭和火口での噴火活動は、9月上旬まで爆発的噴火を含む噴火の多い状態で経過しましたが、その後は噴火は少なく、爆発的噴火は9月9日から10月6日まで発生しませんでした。6月以降の噴火による噴煙の最高高度は火口縁上2,000mで、弾道を描いて飛散する大きな噴石は4合目(昭和火口から800~1,300m)まで達しました。
- ・南岳山頂火口では、噴火は発生しませんでした。
- ・6月から8月に噴火により放出された火山灰量は130万トンで、3月~5月の180万トンと比べてやや減少しました。また、地殻変動観測では、傾斜計で6月中旬以降、顕著な山体地盤の沈降が認められ、GPSでも今年初め頃から桜島島内でみられていた伸びの傾向は6月頃から鈍化または収縮に転じています。これらのことから、桜島直下へのマグマの供給量は減少していることが考えられます。
- ・一方、GPSによる地殻変動観測では、始良カルデラ(鹿児島湾奥部)深部の膨張による変化が引き続き観測されています。
- ・以上のように、桜島の噴火活動は小康状態となっていますが、桜島直下へのマグマの供給量が増加した場合、再び噴火活動は活発化する可能性が考えられますので、火山活動の推移に注意する必要があります。
- ・昭和火口及び南岳山頂火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石(火山れき)に注意が必要です。降雨時には土石流に注意が必要です。

⑥ 薩摩硫黄島 [火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)]

- ・火山性地震は、2009年3月下旬以降、やや多い状態が続いていましたが、2010年9

月以降少ない状態で経過しています。

- ・ 噴煙活動は雲のため山頂部を確認できた時間が少なく、白色の噴煙が一時的に観測される程度でした。
- ・ 火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されますので、火口から概ね1 kmの範囲では噴火に対する警戒が必要です。風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石に注意が必要です。

⑦ 口永良部島 [噴火予報 (噴火警戒レベル1、平常)]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
- ・ ただし、火口内では引き続き噴気がみられており、火山灰等の噴出する可能性があります。また、火口付近では火山ガスに対する注意が必要です。

⑧ 諏訪之瀬島 [火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、火口周辺規制)]

- ・ 御岳火口では、7月以降爆発的噴火を含む噴火が断続的に発生し、噴火活動は活発に経過しました。
- ・ 火山性地震及び火山性微動は消長を繰り返しながらやや多い状態が続いています。
- ・ 今後も火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されますので、火口から概ね1 kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石に注意が必要です。

注) 噴火警戒レベルは平成22年10月13日現在、26火山に導入している。

全国の活火山の噴火警報及び噴火予報発表状況

地方	火山名	現在 (ここで示すレベルは噴火警戒レベルである)	噴火警報及び噴火予報の発表履歴
北海道地方	雌阿寒岳	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常) 2008年9月29日 火口周辺警報 (火口周辺危険) 2008年10月17日 噴火予報 (平常) 2008年11月17日 火口周辺警報 (火口周辺危険) 2008年12月16日 火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2009年4月10日 噴火予報 (レベル1、平常)
	十勝岳	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常) 2008年12月16日 噴火予報 (レベル1、平常)
	樽前山	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (レベル1、平常)
	倶多楽	噴火予報 (平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
	有珠山	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常) 2008年6月9日 噴火予報 (レベル1、平常)
	北海道駒ヶ岳	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (レベル1、平常)
	恵山	噴火予報 (平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
東北地方	岩木山	噴火予報 (平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
	岩手山	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (レベル1、平常)
	秋田駒ヶ岳	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常) 2009年10月27日 噴火予報 (レベル1、平常)
	栗駒山	噴火予報 (平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
	吾妻山	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (レベル1、平常)
	安達太良山	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常) 2009年3月31日 噴火予報 (レベル1、平常)
	磐梯山	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常) 2009年3月31日 噴火予報 (レベル1、平常)
関東・中部地方・伊豆・小笠原諸島	那須岳	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常) 2009年3月31日 噴火予報 (レベル1、平常)
	草津白根山	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (レベル1、平常) 2009年4月10日 噴火予報 (レベル1、平常) 切替
	浅間山	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (レベル1、平常) 2008年8月8日 火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2009年2月1日 火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 2009年2月3日 火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 切替 2009年4月7日 火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2010年4月15日 噴火予報 (レベル1、平常)
	新潟焼山	噴火予報 (平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
	焼岳	噴火予報 (平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
	御嶽山	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常) 2008年3月31日 噴火予報 (レベル1、平常)
	白山	噴火予報 (平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
	富士山	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (レベル1、平常)
	箱根山	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常) 2009年3月31日 噴火予報 (レベル1、平常)
	伊豆東部火山群	噴火予報 (平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
	伊豆大島	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (レベル1、平常)
	三宅島	火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日 火口周辺警報 (火口周辺危険) 2008年3月31日 火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)
	八丈島	噴火予報 (平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
	硫黄島	火口周辺警報 (火口周辺危険)	2007年12月1日 火口周辺警報 (火口周辺危険)
福徳岡ノ場	噴火警報 (周辺海域警戒)	2007年12月1日 噴火警報 (周辺海域警戒)	

	火山名	現 在 (ここで示すレベルは噴火警戒レベルである)	噴火警報及び噴火予報の発表履歴
九州地方・南西諸島	九重山	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (レベル1、平常)
	阿蘇山	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (レベル1、平常)
	雲仙岳	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (レベル1、平常)
	霧島山(新燃岳)	火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日 噴火予報 (レベル1、平常) 2008年8月22日 火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2008年10月29日 噴火予報 (レベル1、平常) 2010年3月30日 火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2010年4月16日 噴火予報 (レベル1、平常) 2010年5月6日 火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)
	霧島山(御鉢)	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (レベル1、平常)
	桜島	火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日 火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2008年2月3日 火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 2008年2月20日 火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2008年4月8日 火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 2008年7月14日 火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2008年7月28日 火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 2008年8月28日 火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2009年2月2日 火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 2009年2月19日 火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2009年3月2日 火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 2009年3月10日 火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 切替 2009年4月24日 火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2009年7月19日 火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 2010年9月30日 火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)
	薩摩硫黄島	火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日 火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)
	口永良部島	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2008年1月25日 噴火予報 (レベル1、平常) 2008年9月4日 火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2008年10月27日 火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 2009年3月18日 火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2009年8月4日 噴火予報 (レベル1、平常) 2009年9月27日 火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2009年10月30日 噴火予報 (レベル1、平常)
	諏訪之瀬島	火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日 火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)

注) 噴火警報及び噴火予報の発表履歴は、2007年12月1日以降のものを記載しています。

上記以外の活火山では平成19年12月1日に噴火予報(平常)を発表し、その後、火山活動に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

地 方	火 山 名
北海道地方	知床硫黄山、羅臼岳、摩周、アトサヌプリ、丸山、大雪山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山
東北地方	恐山、八甲田山、十和田、秋田焼山、八幡平、鳥海山、鳴子、肘折、蔵王山、沼沢、燧ヶ岳
関東・中部地方 及び伊豆・小笠原諸島	高原山、日光白根山、赤城山、榛名山、横岳、妙高山、弥陀ヶ原、アカンダナ山、乗鞍岳、利島、新島、神津島、御蔵島、青ヶ島、ベヨネース列岩、須美寿島、伊豆鳥島、嬬婦岩、西之島、海形海山、海德海山、噴火浅根、北福德堆、南日吉海山、日光海山
中国・九州地方 及び南西諸島	三瓶山、阿武火山群、鶴見岳・伽藍岳、由布岳、福江火山群、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄島、西表島北北東海底火山

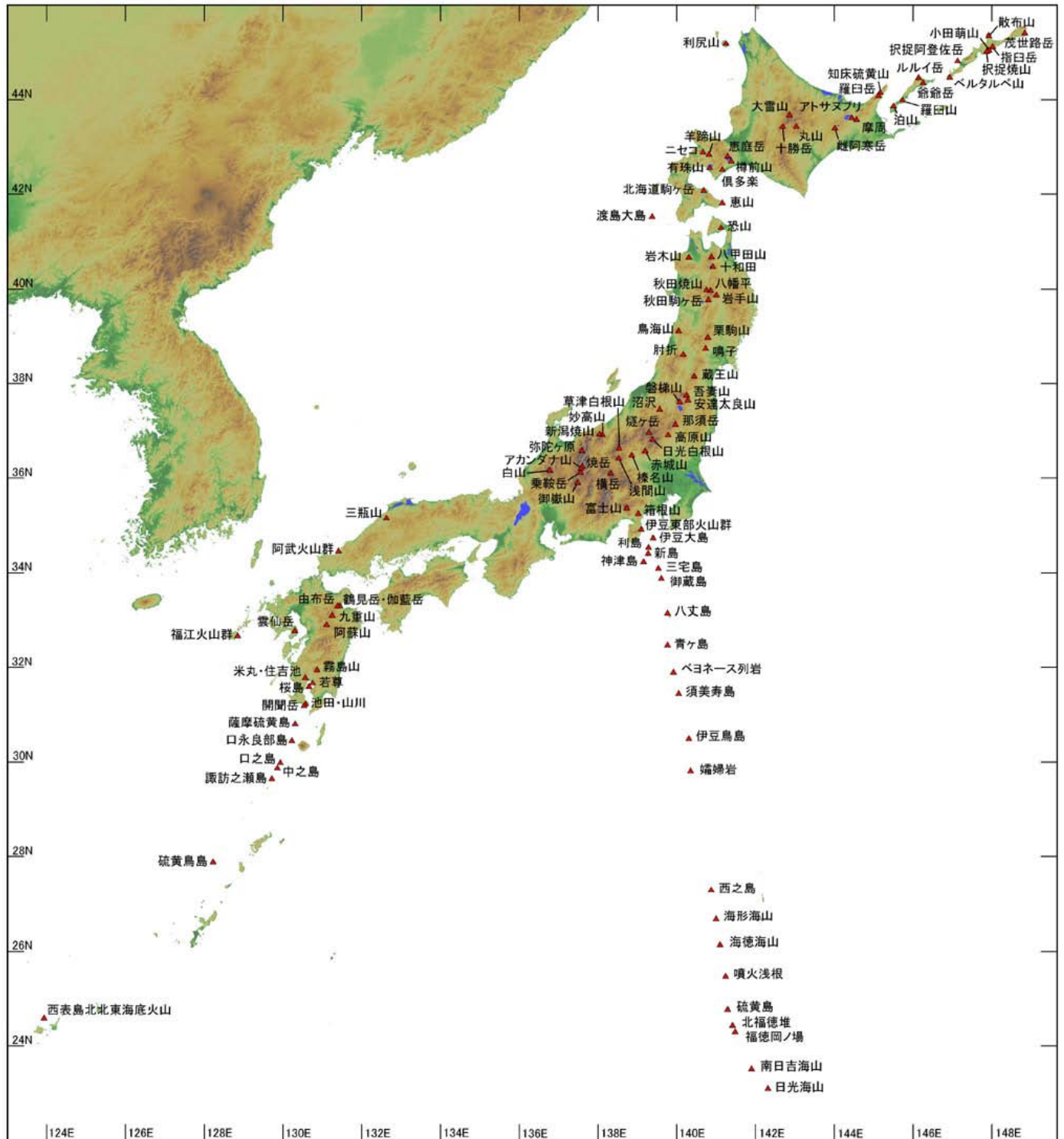


図 活火山分布図